

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ①グリーン分野(6/6)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
たたらの里山再生特区(雲南市)	3.3	3.3 進捗度 ・人口の社会動態 -26% ・まちづくり活動に参画する市民の割合 96% ・市民参加型林地残材搬出量 66% ・コミュニティビジネス売上高 77%	3.3 規制の特例等 ・農地取得に係る下限面積要件の緩和 地域独自の取組 ・森林バイオマスエネルギー事業運営業務委託 ・地域づくり活動等交付金	3.3	・人口減少の課題先進地という厳しい状況下で、交流人口や関係人口の増加をはかる地道な取組を評価。 ・中山間地域における市民力も活用した里山の再生による持続可能な地域づくりという、重要かつ難しい課題に取り組んでいる。 ・数値目標である転入と転出の差を増加させるための直接的な事業についてより一層の工夫が必要。 ・「まちづくりに参加する市民の割合」の指標についてはより評価内容の質の充実を図る時期に来ている。 ・森林バイオマスエネルギー事業の木材搬出エリアが、路網未整備地域に移りつつあるとのことであり、林道整備や高性能林業装置など事業を支えるインフラ拡充への取組がさらに重要と考えられる。 ・地域循環型の事業の計画や取組を期待。